

こうなん  
香楠中学校の特徴や誇れるもの

- ・香楠中学校は、平成19年4月に開校し、平成28年度は創立10年目の年になります。
- ・学校のシンボルは大楠です。校舎の南側に2本、校門付近に1本の計3本あり、香楠中の校名も、この大楠に由来しています。
- ・校訓は「知を愛し、和を敬い、心を培え」です。平成5年度に鳥栖高校生徒へ公募し、その中から選ばれたものを基にして決められました。
- ・7校時目を「香楠タイム」として、各種の講演会や自学自習の時間などに活用しています。

具体的な取組・活動例①

- ・中学1年生の総合学習の時間において、「私のふるさと自慢」というテーマで、各自が自分のふるさとを調べ、そのいいところをまとめて、プレゼンテーション資料をつくり、クラス単位での発表を経て、クラス代表による学年発表会を行いました。
- ・情報収集や発表資料の作成には、クラスに備え付けられている学習用PCを活用し、総合学習の時間だけで終わらない場合は、放課後や朝早い時間にも、作成を行っています。これらの活動を通して、自分のふるさとを再発見・再評価し、郷土への愛着を高めるとともに、学習用PCの操作スキルを高めることにも役立っています。

学校所在地:鳥栖市古野町600-1  
連絡先:0942-83-2211  
生徒数:359名

具体的な取組・活動例②

- ・毎年、4月末に創立記念登山を中・高ともに行っています。目的地は、高校が九千部山、中学校が河内ダムとなっています。普段なかなか歩かないような距離を、一日がかりで歩きつつ、地元の自然や景観に触れる機会となっています。また、目的地へ向かう途中、清掃活動を行うことにより、ボランティア活動を体験する機会ともなっています。

具体的な取組・活動例③

- ・「外国人に佐賀のいいところを紹介しよう」という取り組みを3年生の英語の授業で行いました。佐賀の物産や自然などについて英語で外国人にインタビューし、佐賀のいいところを知ってもらおうという試みです。11月の京都への修学旅行で実践しました。

・校舎南側の大楠



## 香楠中学校の特徴や誇れるもの

- ・幅広い地域から生徒が通学しており、新しい地域の友人ができ、地域の情報を得ることができます。
- ・全クラスに1人1台のタブレットPCを配備して、授業だけでなく、インターネットを通じて郷土に関する情報の収集等にも活用しています。
- ・大学の調査研究や大学訪問を行い、高校卒業後の進路について先取りして考えています。

### 総合的な学習の時間での取組

- ・「総合的な学習の時間」では、各学年でテーマを決めて、本やタブレットPCのインターネットで調べ、自分の考えをまとめています。たとえば「まちづくりの提案」というテーマでは、自分の住む街での良い点や問題点などを調べ、どのようにすればより住みよい街になるかを考え、発表をします。



クラス発表会



学年発表会

### 佐賀県立香楠中学校

学校所在地：鳥栖市古野町600-1

連絡先：0942-83-2211

生徒数：359名

### 開校記念遠足と清掃活動

- ・毎年5月上旬に、河内ダムの鳥栖市民の森に遠足に行きます。そこでは友人との交流を深めたり、広場の清掃作業を行います。



広場の清掃作業の様子

### 学校の誇れるものの紹介



学校のシンボル 大きな楠の木

せきや  
関谷先生…元鳥栖高校の教師で体操部の指導をされていた。退職後も毎日欠かさず佐賀市から通われて庭木の剪定、草花の手入れ、校門付近の清掃を黙々とされている。その「関谷精神」は生徒の模範である。